



人権リスクマネジメントによる 企業風土の変革支援サービス

ソーシャルセクターのネットワーク「国際協力NGOセンター(JANIC)」との協働により、企業活動によって生じる人権リスクの把握を通じて、人権リスクマネジメント体制の確立と企業価値の向上を支援

ビジネスと人権に関する世界の法規制化・国内のソフトロー対策として、多くの企業が人権デューデリジェンスや救済措置の策定といった人権対応を進めていますが、「社内の人権意識の醸成不足」「株主や従業員を含むステークホルダーの声の把握不足」や「サプライチェーンの実態の把握不足」により、表面的な対応にとどまっているケースが多く見られます。アビームコンサルティングは、グローバルな視点で人権課題に取り組むソーシャルセクターのネットワーク「国際協力NGOセンター(以下、JANIC)」との協働により、企業活動によって生じる人権リスクの把握から、予防・軽減・是正の仕組み作りに至るまでの一貫した支援を通じて、企業価値の向上と社会課題の解決を支援します。

企業における人権リスクのマネジメントが目指す姿

サプライチェーン全般の主要な人権リスクを把握することで、リスク低減等の施策が実行され、業務や企業活動の継続的な改善活動が行われている状態を目指します。また、全社で人権リスクに取り組むことで、企業や組織の風土変革まで実施できている状態を指します。

サステナビリティ部門が人権リスク対策で陥りがちな落とし穴と回避のためのポイント

政府のガイドライン等に最低限対応するための表面的・断片的な人権対応にとどまっている企業も多く見受けられます。人権意識の醸成不足、ステークホルダーの声の把握不足、サプライチェーンの実態の把握不足といった、人権リスク対策で陥りがちな落とし穴を回避し、人権志向での企業変革を行うことが、中長期的な企業価値向上につながります。

経営層が高い危機感と中長期的な目線を持つとともに、ステークホルダーとの対話やサプライチェーン全体での人権リスク管理の手法を取り入れ、成果につながる組織風土や仕組みづくりに転換させることが重要です。

陥りがちな落とし穴

社内の人権意識の醸成不足

人権への対応が必要であることの理解が一部の社内関係者にとどまり、経営層から現場まで人権対応に対する理解が少ない。また、近年の「人権対応」のカバーすべき範囲を理解していない。

株主や従業員を含む ステークホルダーの声の把握不足

ステークホルダーが多岐にわたり、かつ変化し続けているにもかかわらず、限定的な関係者との対話しかできておらず、主観的な実態の把握と対応にとどまる。

サプライチェーンの 実態の把握不足

サプライチェーンの範囲はグローバルで 多岐に渡ることが多いため、実態の把握 が難しい。また、取組への強制力がなく、 負荷が大きいことから、人権対応の協力 を得ることが難しい。

ためのポイント落として回じ

経営層の高い危機感に基づく 真摯な人権対応

経営層が人権対応への危機感を抱き、継続的に対応できる仕組みと意識を持つことは、企業そのものの継続性を高める。また、「負の影響の発見」は悪ではない。開示をしないことは、外部から見ると対策を行っていないことと同義。

ステークホルダー エンゲージメントの重視

人権リスクによる負の影響の実態・原因の理解、改善・予防策の実現には、従業員や株主、取引先、消費者のみならず、ソーシャルセクター(NPO/NGO団体等)等を含むさまざまなステークホルダーとの継続的な対話と協働が必要。

サプライヤーと連携した 持続可能なサプライチェーン構築

外部の目線を入れた状況把握の上で、サプライヤーの適切なエンゲージメントのもと、リスク評価から是正、更には持続可能なサプライチェーンの変革につなげることが重要。また、作業負荷軽減のため、デジタルツールなどの活用も検討すべき。

人権志向の企業風土変革支援サービス概要

アビームコンサルティングは、企業が人権課題に取り組むことを、単に外部からの要請に応えるものではなく、企業全体の組織風土を変革する機会であると捉えています。

当社は、企業の価値向上に関するノウハウや実績をもとに、JANICの人権に関するグローバルな知見、ネットワーク、人権に関する様々なアプローチを活用し、企業の人権リスクにおける課題の洗い出しから方針・施策の策定、全社への展開方法にいたるまで、人権対策に対する企業全体の組織風土の変革や仕組み/基盤の構築を通じて、企業の真の人権リスクマネジメントの実現と価値向上を支援します。

人権リスクマネジメントによる企業の風土変革支援のアプローチ

人権リスクはアンコンシャスバイアス (無意識の偏見・思い込み)や企業文化など奥深くに原因が潜む事が多いため、本質的な課題の把握が重要です。 アビームコンサルティングは、人権リスク評価の初期段階で、事業特性や企業文化から人権リスクが潜んでいる地域・業務などに関する仮説を立て、 現地インタビューなどによってステークホルダーの声を聞き、対応すべき本質的なリスクを特定します。また、対応策を全社戦略・事業戦略と整合性を 取る形で立案・実行するとともに、継続的な人権リスクのモニタリングサイクルの構築を通じ、企業風土の変革にまで踏み込んだ支援を行います。

「目指す姿」の設定と人権方針の 1 策定、優先対応すべき人権リスク の特定

人権観点での「企業のありたい姿・目 指す姿」を定義し、現状とのギャップが 大きいリスクを洗い出した上で優先 順位付けを実施

2 人権リスクへの対応策の策定

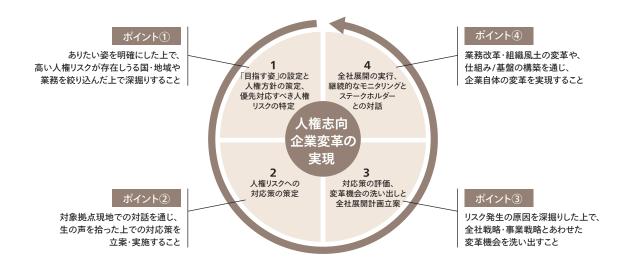
優先度の高い人権リスクについて関係者に現地インタビュー調査等を実し、 リスクの現状を把握。サブラチェーン での改善策を含むリスクへの対応策 を策定

3 対応策の評価、変革機会の 洗い出しと全社展開計画策定

対応策の有効性評価、人権リスク発生 原因の深掘りを実施。全社戦略・事業 戦略や人事戦略と整合性を取った形 での変革テーマを設定し、グループ 全体の展開計画を立案

全社展開の実行、継続的な 4 モニタリングとステークホルダー との対話

実行した人権施策の社内への横展開とともに、継続的なリスクモニタリングサイクル(体制や会議体含む)の仕組みを構築。対外開示およびステークホルダーとの対話(認識しているリスクの公開と対応策の表明含む)を継続的に実施



アビームコンサルティングの提供価値

アビームコンサルティングの構想力、実行力、変革の推進力と、JANIC (および JANIC 内のシンクタンク THINK Lobby)の人権に関するグローバルな知見、国内外のソーシャルセクターをはじめ国際機関や政府高官ともつながるネットワーク、社会課題解決に向けた高い意識と様々な取り組み実績を活用し、リスク対応にとどまらない「機会創出」・「企業価値」に繋げる企業変革を実現いたします。アビームコンサルティングと JANIC で連携したご支援を行うことにより、企業が対応すべき 「ビジネスと人権」の要諦を押さえた形での人権課題の解決が可能となります。







企業文化・商慣習に合わせた 最適な人権リスクマネジメントを提案する構想力

企業の業務プロセス・サプライチェーンに関する深い知見と、 それらを企業経営戦略やリスクマネジメントと紐付け、 経営層の意思決定を支援する実行力

グローバルネットワークにより、現場の声の吸い上げや、 現場も含めたグローバル一体となった変革の推進力 国内外の人権基準への深い理解だけでなく、 ルールメイカーとしての先見性・企業事例の理解など多面的な知見

NGOならではの公正性を生かした国内外イニシアチブや 団体、企業との強力なネットワークと活動実績

企業を通じた社会全体の行動変容を見据えており 企業経営層だけでない全ての関与者へ、人権対応の理解と 実行を促す多種多様なアプローチを保有